

特集

# 技術の伝承・ 技術力の向上に向けて

## ～技術・知恵の伝承～

### 【特集の趣旨】

我が国は人口減少社会を迎え、また過去の経済情勢に応じた好況期の採用拡大・不況期での採用抑制等の結果、各組織体では年齢構成の偏り等の課題が生じており、先輩から後輩へという技術の伝承が難しくなっていることが現状です。

このような状況のもと、地方整備局・地方公共団体等においては、公務員技術者にとって基礎となる調査設計、積算、施工管理、点検、品質管理、安全管理などの現場（技術）力を向上させるため、多くの機関では、（一社）全日本建設技術協会や大学などの外部機関を利用した各種研修の実施、資格取得の際の支援制度、現場事例集の作成、OB技術者の指導助言など様々な取組がなされています。しかし、業務の多様化が進む中、十分な成果を得るためには、各機関で実施している情報を交換しながら、それぞれの機関にとって有効な取組を実施していくことが近道であると思います。

今号の特集では、地方整備局・地方公共団体等において取り組んでいる技術力向上に向けた取組や、長年にわたり建設行政の推進等に尽力されたOBの公務員技術者の方の知識、経験談、知恵等、後輩の公務員技術者に向けたメッセージ性のある寄稿を紹介します。

特集担当編集委員 古川 慎治  
(国土交通省 大臣官房 技術調査課 技術企画官)



パネルディスカッションにおいて、記録映像や写真などを用いて災害経験の少ない現役社員に苦労話を紹介（今号P31～33「高速道路事業の技術伝承会」より）



## CONTENTS

・公共技術者への期待	10
・災害査定を通じた技術力向上の取組	14
・京都府における職員の技術力向上の取組	16
・道路管理を担う若手職員のスキルアップ	19
・挑戦する人材の育成	22
・重力式係船岸の設計事例を活用した技術継承の取組	25
・令和6年日向灘地震の災害対応	28
・高速道路事業の技術伝承会	31